

同時資料配布先:

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2017年10月17日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

革新的環境技術シンポジウム 2017
～温暖化対策の長期戦略を支える革新的技術の開発推進～
開催のご案内

当機構の最新の研究成果をご報告する標記のシンポジウムを12月6日、東京大学伊藤謝恩ホールにて開催いたします。

昨年発効した「パリ協定」では、温室効果ガス削減のための長期戦略の提出が求められており、我が国においてもその策定へ向けた議論が進められていますが、将来の抜本的な温室効果ガス削減のために、革新的なエネルギー・環境技術の開発、普及が期待されています。

本シンポジウムでは、当機構の地球温暖化対策に資する革新的なエネルギー・環境技術の研究開発や地球温暖化対策シナリオ作成に関する最新の研究成果についてご報告いたします。

1. 開催趣旨

昨年11月に「パリ協定」が発効し、地球温暖化防止のための新たな国際枠組みがスタートしました。パリ協定の締約国は、2020年までに温室効果ガス削減のための長期戦略を提出するように求められていることから、我が国においても、3月に「長期低炭素ビジョン」、4月に「長期地球温暖化対策プラットフォーム報告書」が示され、8月からは長期戦略を議論する「エネルギー情勢懇談会」が開かれる等、パリ協定の下での取り組みが進められています。

将来の抜本的な温室効果ガス削減には革新的技術の役割が重要であり、「長期地球温暖化対策プラットフォーム報告書」では、地球温暖化対策の「3本の矢」の1つとして「イノベーション」が掲げられ、温室効果ガス削減に資する革新的技術の開発、普及が期待されています。

当機構は地球温暖化対策に資する革新的なエネルギー・環境技術として、CCS技術^{※1}、バイオリファイナリー技術^{※2}、無機膜^{※3}を用いた分離・精製技術の研究開発や効果的な温暖化対策・政策立案に役立つシナリオ作成・分析に取り組んでおり、本シンポジウムではこれらの最新の研究成果や実用化に向けた取り組みについてご報告いたします。また、経済産業省大臣官房審議官の岸本道弘様をお迎えして、地球温暖化問題の現状と今後(予定)についてご講演いただく他、当機構研究所長の山地憲治より長期地球温暖化対策におけるイノベーションの役割について講演いたします。さらに、今年度は、ポスターセッションの時間を従来よりも長くし、多くの方々に当機構の研究者とお話いただく機会を持っていただけるようにいたします。

※1 CCS: Carbon dioxide Capture and Storage。発電所や製鉄所の排気ガスからCO₂を分離・回収し地中に貯留する技術。

※2 バイオリファイナリー: バイオマスからバイオ燃料や化学品を生産する技術

※3 無機膜: 水素社会に不可欠な水素の分離・精製などへの適用が期待されるセラミックや金属製の薄膜

2. 開催概要

主催: 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)

後援: 経済産業省(予定)、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、
公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、
一般社団法人 日本エネルギー学会

日時: 2017年12月6日(水) 13:00~17:30 (開場 12:30)

会場: 東京大学 伊藤謝恩ホール(本郷キャンパス 赤門東隣り)

参加費: 無料

プログラム:

- ・招待講演:地球温暖化問題の現状と今後(予定)
経済産業省大臣官房審議官(環境問題担当) 岸本 道弘
 - ・基調講演:長期地球温暖化対策におけるイノベーションの役割
研究所長 山地 憲治
 - ・講演 1:CO₂分離回収技術の実用化に向けた取り組み
化学研究グループリーダー 中尾 真一
 - ・講演 2:大規模 CO₂地中貯留技術の実用化を目指した研究開発の取り組み
CO₂貯留研究グループリーダー 薛 自求
 - ・講演 3:革新的環境・エネルギー技術としての無機膜実用化への取り組み
無機膜研究センター長 中尾 真一
 - ・講演 4:低炭素社会の実現を目指したバイオリファイナリー生産技術の開発
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
 - ・講演 5:パリ協定国別貢献 NDC の排出削減努力・政策評価
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
 - ・講演 6:ゼロエミッションに向けた技術の動向
理事・企画調査グループリーダー 都筑 秀明
- (詳細はパンフレットを参照願います。)

ポスターセッション:

14:00~17:00の間、ご自由にポスターをご覧いただけます。

※座ってお話いただける「技術相談コーナー」も設けています。具体的なお相談事項のある方は、その旨ポスター説明員にお申し出ください。

3. 参加登録

参加を希望される方は、RITE ウェブサイト <http://www.rite.or.jp> よりお申し込み下さい。

4. プレス登録

取材を希望される報道関係の方も、事前に参加お申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先：

(公財) 地球環境産業技術研究機構

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 中村、大西、辰巳

TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-75-2314

革新的環境技術 シンポジウム 2017



～温暖化対策の長期戦略を支える革新的技術の開発推進～

2017年12月6日(水) 13:00～17:30(受付開始 12:30)

伊藤謝恩ホール(東京大学) **入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援：経済産業省(予定)、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会

SCOPE

昨年11月に「パリ協定」が発効し、地球温暖化防止のための新たな国際枠組みがスタートしました。パリ協定の締約国は、2020年までに温室効果ガス削減のための長期戦略を提出するように求められていることから、我が国においても、3月に「長期低炭素ビジョン」、4月に「長期地球温暖化対策プラットフォーム報告書」が示され、8月からは長期戦略を議論する「エネルギー情勢懇談会」が開かれる等、パリ協定の下での取り組みが進められています。

将来の抜本的な温室効果ガス削減には革新的技術の役割が重要であり、「長期地球温暖化対策プラットフォーム報告書」では、地球温暖化対策の「3本の矢」の1つとして「イノベーション」が掲げられ、温室効果ガス削減に資する革新的技術の開発、普及が期待されています。

当機構は設立以来、地球温暖化対策に資する革新的なエネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてきました。本シンポジウムでは、当機構の全グループ、センターにおける最新の研究成果をご報告いたします。

Innovative Environmental Technology Symposium 2017

プログラム

12:30	受付開始	
13:00～13:05	開会挨拶	理事長 茅 陽一
13:05～13:30	招待講演	地球温暖化問題の現状と今後(予定) 経済産業省 大臣官房審議官(環境問題担当) 岸本 道弘
13:30～14:00	基調講演	長期地球温暖化対策におけるイノベーションの役割 理事・研究所長 山地 憲治
14:00～14:35	講演 1	CO₂分離回収技術の実用化に向けた取り組み 化学研究グループリーダー 中尾 真一
14:35～15:10	講演 2	大規模 CO₂地中貯留技術の実用化を目指した研究開発の取り組み CO ₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
15:10～15:40	コーヒーブレイク	
15:40～16:00	講演 3	革新的環境・エネルギー技術としての無機膜実用化への取り組み 無機膜研究センター長 中尾 真一
16:00～16:35	講演 4	低炭素社会の実現を目指したバイオリファイナリー生産技術の開発 バイオ研究グループリーダー 乾 将行
16:35～17:10	講演 5	パリ協定国別貢献 NDC の排出削減努力・政策評価 システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
17:10～17:25	講演 6	ゼロエミッションに向けた技術の動向 理事・企画調査グループリーダー 都筑 秀明
17:25～17:30	閉会挨拶	専務理事 本庄 孝志

ポスターセッション

14:00～17:00の間、ご自由にポスターをご覧ください。説明員もおりますので、お気軽にご質問ください。

※座ってお話しいただける「技術相談コーナー」も設けています。

具体的なご相談事項のある方は、その旨ポスター説明員にお申し出ください。

アクセス

東京大学 本郷キャンパス

伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール 地下2F

■ 東京メトロ丸の内線「本郷三丁目駅」より徒歩8分

■ 都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」より徒歩6分

お申し込み

RITE ウェブサイト

<http://www.rite.or.jp> よりお申し込みください。

